傳神開手
北齋漫畫九編
全

尾張東壁堂藏版画譜畫手本目録

書肆　名古屋本町通七丁目　永楽屋東四郎

漫画とはそゞろにあそひてはいくのすさひ
本まろりぬるきことしいまくに似たら
ろゑるさまとてあらへしやはりといくま
あるきまのいくは物体となかくこゑり
くさて例のくせある筆まめのやれつゞら
しいたしてみゆるまうの世るあつめこら物
られていさましくもたうへしもさましく述
おのしくもさまくかりひつきれてたく衣のこり
ふさきさやいさや此翁の筆つゝしとさるいく

さく人まこしてんまいむすしの人の思ひいれめ
まめしいはゆる筆あまゝ不常まてこれしくきさ
つまめのもやりよへゑむさはいむようなく敵げく
いんしうとせきりうをとられるもかの筆は宗のい
みし～わかへてしらすのもとはさゝけてそろん
うはたの人前たる役徒せられて此をしつらた
筆いろかきさやりん勒の毒よかりへうれてかきく
もそうさそ[illegible]みんかとよく人かめてうく人
やみんうし

竹樹園

漫画

九編

上杉浅言ナ紀

日本武尊碓井峠ニ屯の圖

大元帥之像（だいげんすいのぞう）

大極五行之陣勢
出地
入地

圓行

長蛇

鋒矢
又魚鱗

一逆
一順

方行

雁行

偃月
又雁翼

西白虎
南朱雀
前長く低し
後高短し
北玄武
東青龍

石やぐら柵

扇形水橡

八艘飛之圖

能登守教經

近江國貝津里

傀儡女金子力量

小子部栖軽

豊浦の里 雷を捕

傾城（けいせい）

傾国（けいこく）

盛羅
令可

野見宿祢（のみのすくね）

當麻蹶速（たえまのけはや）

士卒英氣養圖

よろひ出陣の胄勢つ之図

佛御前嵯峨野に妓王と妓女を弔ふ

寡女(やもめ)大井子(おほいこ)怪力(かいりき)

常盤為子操を賊

平相國清盛貞婦に逼る

阿蘭陀人夜ハ天文ヲ考ル圖

相圖

雨足（あまあし）

百雷鳴（ひやくらいめい）

白雲籠月

群鳥

震火激雷

光烟柳

碌ゝ火ゝ炮ゝ

司馬仲達

鬼童丸の市原野に頼光を窺ふ

仁田ノ四郎忠常富士の巌窟に到る

標騎

駈立る

屠り鋪

藤原純友(ふぢはらのすみとも)九州に誅戮(ちうりく)す

藤太秀郷龍宮城に至り寶を得て帰る

桓公老馬に随ひ國に帰る

大豊作（だいほうさく）

万民（ばんみん）

戯楽（げらく）

天下泰平（てんかたいへい）

大全早字節用集

横本　全壹冊

節用の類ハ世間に數板ありてこれ重宝なれどもなかにも得失ありて便
よろしきも板あらしくものの數少て引ハ早けれども中にハかの字の二つて
さしとなすものさがしに笠傘瘡のうち何ぞやんと迷ひ又雲といふ
字をさがしとて流にあるをしらず見なりと元ちぐ椿と津液陽と
月水とを引わやまる類おゝきにあらずとも又同じきまぎ數のこに
まぢりてひく不都合今此節用ハ天地人物草木言語のことく部をわけ
又をいろはによりてひく不是らの誤なく捷く多く増字をくわへ
これハ誠に無為の節用なり

尾州名古屋本町七丁目　永樂屋東四郎